

平成27年度東部地区環境教育研究協議会実施報告

1 期 日 平成27年8月4日（火）

2 会 場 春日部地方庁舎（大会議室）

3 目 的

平成24年10月1日に完全施行された「環境教育等促進法」では、学校教育における環境教育の充実として、①教育活動における環境配慮の努力義務、②学校教育における環境教育の一層の推進が求められています。
このことを踏まえ、持続可能な社会を構築するため、各校の取組の内容とその成果及び課題を発表し、共有するとともに、環境教育を充実させる取組について研究協議を行い、各校、各市町における環境教育の改善及び充実を図ります。

4 内 容

（1）全体会Ⅰ

- ①情報提供（埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課）
- ②実践発表（加須市立加須北中学校）
- ③指導講評及び情報提供
（埼玉県立総合教育センター江南支所）



義務教育指導課による情報提供



加須市立加須北中学校の実践発表



総合教育センターによる指導講評



（2）分科会

◆第1分科会：小学校部会 ◆第2分科会：中学校部会

- ①レポートをもとに各校の実践発表
- ②研究協議

【研究協議題】

「環境教育等促進法の趣旨を踏まえ、持続可能な社会を構築しようとする児童生徒の育成を目指した、本校の環境教育の取組の現状と課題について」

（3）全体会Ⅱ

- ①分科会別研究協議内容発表
- ②指導講評（埼玉県立総合教育センター江南支所）

5 参加者

	出席者数
小学校	8
中学校	9
市町教育委員会	5
合計	22

※各市町より小学校または中学校から1校以上が参加し、参加校は毎年代わっています。

6 指導者から

- ・学習指導要領では、小学校、中学校、高等学校に共通する新しい概念として「持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development : ESD）」が明確に位置づけられた。
- ・「持続可能な開発のための教育」（E S D）の視点に立った教育とは、環境教育だけでなく、開発教育・平和教育・国際理解教育・消費者教育・キャリア教育等が一体となって推進されるべきものである。
- ・学校における環境教育は、以下の視点で進める。
 - 1 校内組織づくりを行う
 - 2 これまでの環境教育にE S Dを関連付ける
 - 3 様々な教育活動を関連付ける
 - 4 家庭・地域と関連付ける
 - 5 地域の教育資源を活用する
 - 6 応募型事業を活用する
- ・新たな取組を取り入れていくことよりも、まず現在行っている教育活動を環境教育の視点から見つめ直し、継続、充実させていくことが大事である。



分科会の様子（小学校）



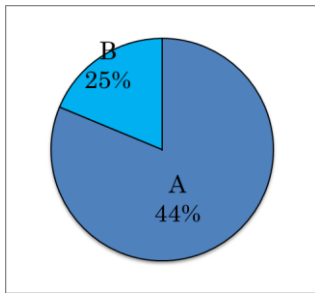
分科会の様子（中学校）



全体会 分科会内容発表

7 参会者の感想から

【アンケート：本研究協議会は参考になりましたか（単位：人）】（無回答数 6人）



A: とても参考になった	B: 参考になった	C: あまり参考にならなかった	D: 参考にならなかった	合計
13	3	0	0	16

【参会者の言葉から】

○加須市立加須北中学校の実践発表について

- ・学校の職員だけでなく、むしろ生徒や家庭・地域が主となって取組を行うことで、生徒たちの意識や関心が高まることがわかった。
- ・学校内でできることは限られているが、地域の資源を取り込むことで、できることが広がると感じた。
- ・全教育活動を通じて行うことで、生徒の心の豊かさにつながっていくことがわかった。

○指導者情報提供、指導講評及び分科会での協議について

- ・E S Dについて分かりやすく説明いただき大変勉強になった。
- ・他校から学んだ良い取組をE S Dと関連づけながら本校でも取り組んでいきたい。
- ・身近なことを少し工夫するだけですが素晴らしい取組になることが分かった。
- ・他校の環境教育の実践を見たり聞いたりする機会はほとんどないので、とても参考になった。
- ・これまで行ってきた環境教育とE S Dとを関連付ける必要性を本校職員にも伝えていかなければならないことを感じた。
- ・持続可能な社会の担い手を育む教育には何が重要であるか、学校教職員全員、さらに地域とも連携して取り組めるようもう一度深めていきたいと思った。
- ・環境アドバイザーの派遣など、活用したい情報を得ることができた。
- ・指導者の言葉「環境教育とは、環境の危機を伝えることでも、身近な環境が抱える問題点を教えることでもない。むしろ、子供たちがいつか、実際にそうした様々な問題に直面する場面が来た時に、解決できる力や判断基準となる価値観を育てることである」ということを伺い、今まで思っていた環境教育のイメージと違うことを感じ、なるほどと思った。
- ・本日の研修で得たことを活かして、もう一度本校の環境教育計画を見直し、練り上げていこうと思う。